



ルネ・ラリック
常夜灯
《エニシダの花と枝》
1920年 高さ: 43.0cm
北澤美術館所蔵

KITZ

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当期におけるわが国経済は、各種経済対策や原油価格の下落などを背景に改善が見られましたが、消費税増税前の駆け込み需要の反動や円安による原材料価格の上昇で生産コストが増加したことなどにより、期初に期待された程の回復にはいたりませんでした。

海外経済におきましても、米国経済は好調な個人消費により堅調に推移する一方で、欧州経済は低成長が持続し、中国・新興国経済においても成長鈍化の懸念が継続するなど、依然として先行き不透明な状況が続きました。

ここに、第101期(2015年3月期)報告書をお届けし、当期の業績の他、2015年度の経営計画などについてご報告いたします。

キッツグループは、水や空気、石油、ガスなどの流体をコントロールする「バルブ」の製造・販売を通して、暮らしや産業に欠かすことのできないライフラインを支え、ゆたかな社会づくりに貢献してまいりたいと考えています。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2015年 6月

代表取締役社長 堀田 康之

2020年度を最終年度とする長期経営計画「KITZ Global Vision 2020」の達成に向けた「第2期中期経営計画(2013年度～2015年度)」の2年目が終了しました。2014年度の業績と最終年度に当たる2015年度の経営計画について堀田社長に伺いました。



代表取締役社長 堀田 康之

当期の連結業績の概要

Q 当期は前期比減収となりました。

A **フィットネス事業の売却に伴い売上高は微減**

当期の連結売上高は、ご指摘の通り前期比3億19百万円減の1,170億36百万円となりました。バルブ事業では前期比22億63百万円増の901億52百万円となりました。国内市場向けでは、前期末の消費税増税前の駆け込み需要の反動や、人手不足を要因とする工期遅れなどによる販売量の減少はありましたが、前期に実施した価格改定による販売価格の上昇が通年で寄与した他、半導体製造装置向けが好調に推移し、海外市場においても、北米向けやアジア向けで増加しました。また、伸銅品事業でも前期比67百万円の増収となりました。

一方、2014年10月1日付で、フィットネス事業を行っていた株式会社キッツウェルネス(以下、キッツウェルネス)の株式を外部に売却したことに伴い、その他(サービス関連の事業)が前期比26億51百万円の減収となったことにより、連結合計では前期実績をわずかに下回ることとなりました。

Q 減収にもかかわらず、増益となった理由をお聞かせください。

A **バルブ事業の収益改善により増益を達成**

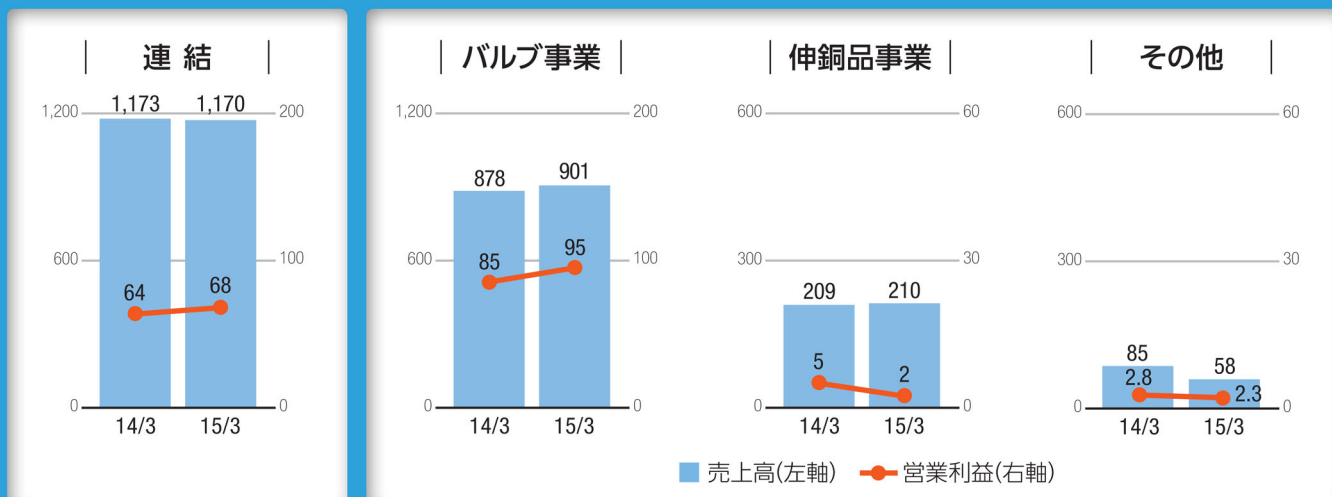
円安に伴う海外生産品の国内仕入れ価格の上昇はありましたが、販売価格改定に伴う収益改善の他、海外の生産グループ会社も順調に推移したことから、バルブ事業の営業利益が9億9百万円増加しました。

伸銅品事業は、新規に導入した設備の稼働効率の向上に時間を要したことなどにより前期比3億円の減益、また、その他(サービス関連の事業)は、キッツウェルネスが連結対象から外れたことなどにより前期比53百万円の減益となりましたが、バルブ事業における増益でカバーしたことにより、連結営業利益は前期比4億16百万円増の68億86百万円となりました。

また、キッツウェルネスの株式売却益21億56百万円を特別利益に計上したことから、当期純利益は前期比33億17百万円増の68億81百万円と大幅な増益となりました。

セグメント別売上高・営業利益

(単位：億円)



第2期中期経営計画の進捗

Q 第2期中期経営計画の2年目が終了しました。

A 駆け込み需要の反動減により国内市場で苦戦

売上高や利益の数値目標については、初年度に続き未達に終わりました。バルブ事業の国内市場は、ここに来て、やっと需要と供給のバランスが回復してきたと感じていますが、期中は消費税増税前の駆け込み需要の反動による調整が続きました。また、人手不足等による工期の遅延などにより、計画策定時に見込んでいた実需の発生も遅れました。海外市場については、北米経済は堅調に推移したものの、ヨーロッパ経済は低迷しており、中国を含むアジア経済についても、アセアン地域を除き減速気味という状況が続きました。

Q 厳しい環境でしたが、今期以降に向けた成果はありましたか。

A 材質別に生産拠点を集約

茅野工場に第2工場棟を新設して生産拠点を集約、給装製品の鍛造工程から完成品まで一貫生産できる体制にて昨年3月から稼働を開始しています。それに伴い、長坂工場がステンレス鋼製バルブの専門工場として新しくスタートしました。これにより、さらなる生産性の向上を目指すことが可能となりました。

また、グループ会社においても、キットマイクロフィルターが、昨年9月より第2工場の稼働を開始、増産体制を整えました。

Q 販売面ではいかがですか。

A 都心に新しいオフィスを開設

今年1月に東京エリアを管轄するキットの営業部門を本社(千葉市)から移転するとともに、都内にあったグループ会社の事務所の一部を統合した新しいオフィスを、東京都中央区日本橋3



丁目開設しました(本報告書中の「トピックス」欄をご参照ください)。特に首都圏では、今後、建設ラッシュが見込まれており、日本橋という好立地を存分に活かせると確信しています。また、グループ会社を集約することで、情報の共有もさらに進むものと思います。

Q 水素ステーション用バルブが大きな話題となっています。

A 水素インフラ整備の加速に期待

燃料電池車も発売されるなど、水素社会の実現に向けた機運の高まりを感じています。当社では、2008年から低コストかつ耐久性に優れた水素ステーション用超高压ボールバルブを開発、さらにニードルバルブ、チャッキバルブを加え、「KITZ CLESTEC®-Series (キットクレストックシリーズ)」としてラインナップしています。本製品は、先般「“超”モノづくり部品大賞」の「環境関連部品賞」に選ばれました(本報告書中の「トピックス」欄をご参照ください)。業績に大きく寄与するのはまだ先だと思いますが、今後、水素利活用のインフラ整備が加速していくことを期待しています。

新規分野ということでは、昨年、実証試験に成功した、陸上養殖において魚が排泄するアンモニアなどの有害物質の分解と脱臭・殺菌を同時に行う新しい水浄化技術「KITZ RECIRQUA(キットリサクア)」についても、事業化へ向けてさらなる試験・研究を進めてまいります。



今期の経営計画

Q 経営計画達成のポイントを教えてください。

A 経営計画達成を目指して

パルプ事業の国内市場においては、前期に発生した消費税増税前の駆け込み需要の反動による減少分は、今期は回復するものと思っています。また、建築設備市場については、人手不足等を要因とする工事遅延の懸念はあるものの、首都圏の再開発物件を中心に緩やかに改善の方向にあると見ていますので、新しく東京に開設したオフィスを拠点に案件の需要を取り込んでまいります。プラント向けは維持・更新需要が中心となりますが、エンドユーザーへの営業強化により拡販を図ってまいります。

海外市場においては、北米は引き続き堅調な回復が続くものと考えています。一方、中国及び新興国は成長鈍化が懸念され、また、欧州については債務問題による景気の下振れリスクもあると見ています。それぞれのエリアに設置した地域統括会社における現地経営判断をより迅速化させ、変化する市場に対応し、販売シェアの拡大を目指してまいります。

生産面では、主力製品の最適地生産体制の構築及び調達の最適化による原価低減により、グローバルで競争できるコスト・品質の確立を目指してまいります。また、開発面においても、部品の共通化設計に基づく部品の統廃合により管理工数の低減とコストダウンを図るとともに、設計や開発業務の効率向上を実現することにより、経営計画を達成してまいりたいと考えています。

Q 株主の皆様メッセージをお願いします。

A 企業価値の向上を目指して

株主様への還元については、経営上の重要な課題であると位置づけており、配当性向については従前より連結当期純利益の25%前後を望ましい水準と考えております。当期は、配当金に加え、株主様への利益還元として1,000千株の自己株式の取得を実施しました。今後は、配当金と自己株式の取得を含めて連結当期純利益の3分の1前後の利益配分を目指してまいります。当期中に発生したキッツウエルネスの株式譲渡による当期純利益の増加は、今後の事業拡大のための資金に充当することを予定しておりますが、この方針を勘案し、その一部を株主の皆様へ還元させていただくこととし、当期末の配当金につきましては1株につき7円(前回予想より1円増配)とさせていただきます。これにより、年間配当額は中間配当の6円と合わせて1株当たり13円となり、前期より3円の増配となりました。

当社は、株主様をはじめとするステークホルダーの皆様のご期待に沿うべく、コーポレートガバナンスの充実に取り組み、継続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指すことで、ゆたかな社会づくりに貢献してまいりたいと考えています。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第2期中期経営計画(2013年度～2015年度)の業績目標 (連結)

	2013年度		2014年度			2015年度	
	中期経営計画 (2013年5月公表)	実績	中期経営計画 (2013年5月公表)	修正計画 (2014年10月公表)	実績	中期経営計画 (2013年5月公表)	経営計画 (2015年5月公表)
売上高	▶ 1,200億円 ▶	▶ 1,173億円 ▶	▶ 1,300億円 ▶	▶ 1,140億円 ▶	▶ 1,170億円 ▶	▶ 1,430億円 ▶	▶ 1,200億円 ▶
営業利益	▶ 72億円 ▶	▶ 64億円 ▶	▶ 89億円 ▶	▶ 75億円 ▶	▶ 68億円 ▶	▶ 116億円 ▶	▶ 85億円 ▶
経常利益	▶ 71億円 ▶	▶ 65億円 ▶	▶ 87億円 ▶	▶ 74億円 ▶	▶ 75億円 ▶	▶ 114億円 ▶	▶ 81億円 ▶
当期純利益	▶ 43億円 ▶	▶ 35億円 ▶	▶ 53億円 ▶	▶ 64億円 ▶	▶ 68億円 ▶	▶ 71億円 ▶	▶ 51億円 ▶
海外売上高比率	▶ 26.8% ▶	▶ 27.6% ▶	▶ 27.6% ▶	▶ 27.9% ▶	▶ 30.0% ▶	▶ 30.8% ▶	▶ 32.0% ▶
有利子負債	▶ 225億円 ▶	▶ 237億円 ▶	▶ 218億円 ▶	▶ 220億円 ▶	▶ 214億円 ▶	▶ 192億円 ▶	▶ 260億円 ▶
自己資本比率	▶ 60.1% ▶	▶ 61.1% ▶	▶ 61.0% ▶	▶ 64.3% ▶	▶ 64.2% ▶	▶ 63.2% ▶	▶ 62.6% ▶
ROE	▶ 7.1% ▶	▶ 5.7% ▶	▶ 8.2% ▶	▶ 9.3% ▶	▶ 9.8% ▶	▶ 10.2% ▶	▶ 6.7% ▶

【セグメント別売上高】

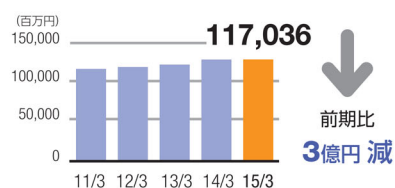
パルプ事業	▶ 910億円 ▶	▶ 878億円 ▶	▶ 1,000億円 ▶	▶ 874億円 ▶	▶ 901億円 ▶	▶ 1,114億円 ▶	▶ 946億円 ▶
伸銅品事業	▶ 200億円 ▶	▶ 209億円 ▶	▶ 210億円 ▶	▶ 207億円 ▶	▶ 210億円 ▶	▶ 217億円 ▶	▶ 222億円 ▶
その他	▶ 90億円 ▶	▶ 85億円 ▶	▶ 90億円 ▶	▶ 59億円 ▶	▶ 58億円 ▶	▶ 99億円 ▶	▶ 32億円 ▶

【セグメント別営業利益】

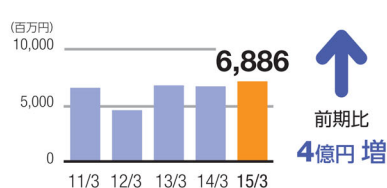
パルプ事業	▶ 92億円 ▶	▶ 85億円 ▶	▶ 114億円 ▶	▶ 100億円 ▶	▶ 95億円 ▶	▶ 139億円 ▶	▶ 113億円 ▶
伸銅品事業	▶ 5億円 ▶	▶ 5億円 ▶	▶ 6億円 ▶	▶ 4億円 ▶	▶ 2億円 ▶	▶ 5億円 ▶	▶ 4億円 ▶
その他	▶ 3億円 ▶	▶ 2億円 ▶	▶ 2億円 ▶	▶ 2億円 ▶	▶ 2億円 ▶	▶ 4億円 ▶	▶ 1億円 ▶

主要連結財務指標

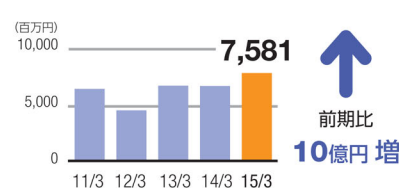
売上高



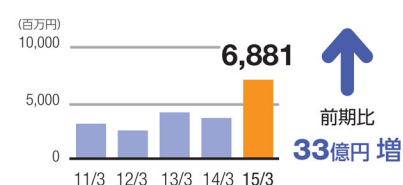
営業利益



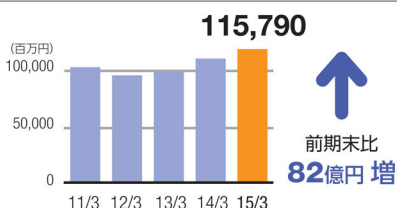
経常利益



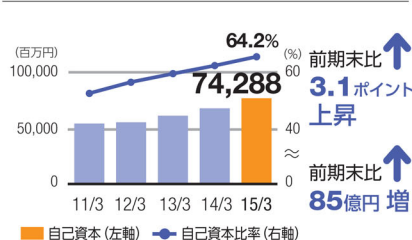
当期純利益



総資産

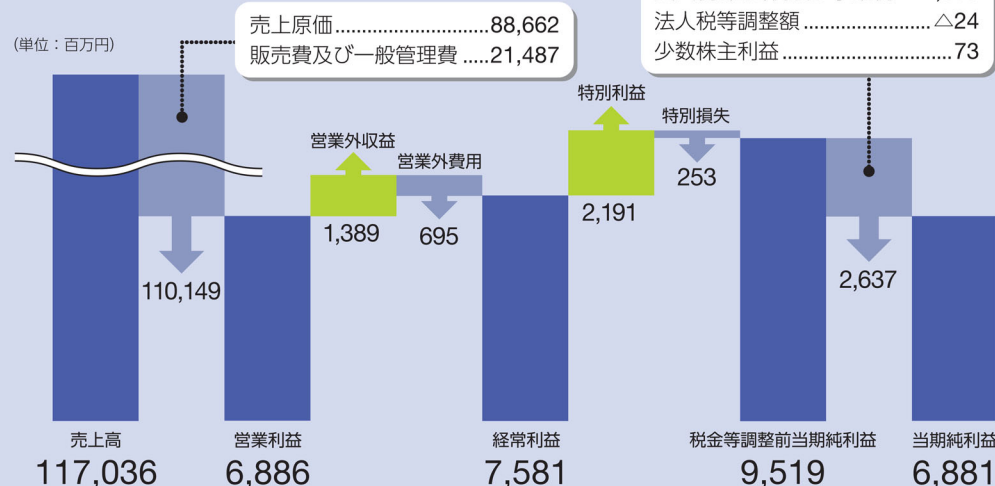


自己資本・自己資本比率



連結損益計算書の概要

当期 (2014年4月1日～2015年3月31日)

Financial Data
101
term

Point ①

当期純利益 6,881百万円
キッツウェルネス株式の譲渡益を特別利益に計上したことなどにより、当期純利益は、前期比93.1%の大幅な増益となりました。

Point ②

総資産 115,790百万円
キッツウェルネス株式の譲渡代金などにより現預金が増加した他、たな卸資産、投資有価証券の増加などにより前期末に比べ約82億円の増加となりました。

Point ③

負債 40,296百万円
買掛金の増加はありましたが、有利子負債の減少などにより、前期末に比べ約5億円の減少となりました。

Point ④

純資産 75,493百万円
当期純利益を約68億円計上したことに加え、為替換算調整勘定及びその他有価証券評価差額金が増加したことなどにより、前期末に比べ約87億円増加しました。

連結貸借対照表の概要



※本報告書中の記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

水素ステーション用超高压ボールバルブ “超” モノづくり部品大賞 環境関連部品賞を受賞

モノづくり日本会議と日刊工業新聞社が主催する2014年“超”モノづくり部品大賞において、キッツの「水素ステーション用超高压ボールバルブ」が環境関連部品賞を受賞しました。

経済産業省と日本商工会議所が後援する“超”モノづくり部品大賞は、日本のモノづくりの競争力向上を支援するため、産業・社会の発展に貢献する「縁の下の力持ち」的な存在である部品・部材に焦点を当てています。「独創的な発明で国内外で反響が大きいもの」「精度や性能が世界最高水準に達しているもの」「日本の産業技術向上に著しく貢献するもの」等の審査基準により、「大賞」のほか分野ごとの各賞で構成されています。

本製品は、燃料電池車に水素を充填する70MPa級水素ステーションの高压ラインに使用されます。超高压水素ガスを封止させる技術、高い耐久性及びコスト競争力が評価されました。

水素ステーション用超高压ボールバルブ



水素ステーション用超高压バルブシリーズWebサイト
<http://advertising.kitz.co.jp/clestec/>
 バルブの仕様や特徴などを中心に関連情報を掲載しています。

グローバル・スタンダード・トラニオン型ボールバルブを開発

キッツ、KITZ Corporation of Europe, S.A. (スペイン)、Perrin GmbH (ドイツ) の3社は、石油・ガス市場、石油化学市場、電力市場などさまざまな工業分野で使用されるトラニオン型ボールバルブをそれぞれに開発し、自社製品としてラインナップしていました。このたび、各社のモデルの強みを集約、市場から高いニーズのある仕様を標準採用した、キッツグループとしての統一モデル（グローバル・スタンダード）のトラニオン型ボールバルブを開発しました。

工業用バルブの規格として重要なAPI 6D及びISO14313のほか、各市場で求められる規格・認証を付加したことにより、幅広い分野に対応することができます。また、統一モデルとしたことにより、価格及び納期面での競争力向上だけでなく、高い品質と充実したアフターサービスの提供も可能となります。

今後も、世界の成長市場で拡販できる製品の開発に注力してまいります。

トラニオン型ボールバルブ：

特に大口径または高压用途に適したボールバルブ。ボール（弁体）を上部と下部の二本のステムまたはプレートで固定する構造であるため、流体圧力による作動トルクへの影響が少ない。



東京支社移転 都内のグループ拠点を集約

これまで本社（千葉市美浜区）内にあった東京支社を、2015年1月、東京都中央区日本橋に移転しました。都心に事務所を開設することにより、今まで以上にお客様に密着した営業活動を実現できる体制が整いました。

また、キッツグループの一層の連携強化のため、東洋バルブの本社及びキッツマイクロフィルターの東京支店等の拠点を当オフィスに集約。今後は、さらなる情報の共有を進め、グループのシナジーを発揮してまいります。



新オフィス



- 商号 株式会社キッツ
- 本社 千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目10番1
TEL (043) 299-0111 (大代表)
- 代表取締役社長 堀田 康之
- 資本金 21,207,084,670円
- 設立年月日 1951年1月26日

- 工場 長坂工場 (山梨県) / 伊那工場 (長野県) /
茅野工場 (長野県)
- 営業網 札幌 / 仙台 / さいたま / 千葉 / 東京 / 横浜 /
新潟 / 富山 / 茅野 / 静岡 / 名古屋 / 大阪 /
岡山 / 広島 / 福岡
- 従業員数 (単体) 1,227名
(連結) 4,032名

グローバル ネットワーク

海外生産拠点

- KITZ (Thailand) Ltd. / タイ(サムットプラカーン)
- 台湾北澤股份有限公司 / 台湾 (高雄市)
- 北澤精密機械 (昆山) 有限公司 / 中国 (江蘇省)
- 北澤閥門 (昆山) 有限公司 / 中国 (江蘇省)
- 連雲港北澤精密閥門有限公司 / 中国 (江蘇省)
- 北澤半導体閥門 (昆山) 有限公司 / 中国 (江蘇省)
- Micro Pneumatics Pvt. Ltd. /
インド (マハラシュトラ州)
- KITZ Corporation of Europe, S.A. /
スペイン (バルセロナ)
- Perrin GmbH / ドイツ (ヘッセン州)

海外販売拠点

- 上海開滋国際貿易有限公司 / 中国 (上海市)
- KITZ Corporation of Asia Pacific Pte. Ltd. / シンガポール
- KITZ Valve & Actuation Singapore Pte. Ltd. / シンガポール
- KITZ Valve & Actuation (Thailand) Co., Ltd. / タイ (バンコク)
- KITZ Corporation of America / アメリカ (テキサス州)
- KITZ SCT America Corporation / アメリカ (カリフォルニア州)
- KITZ Europe GmbH / ドイツ (ヘッセン州)

駐在員事務所

- KITZ Corporation (Korea Liaison Office) / 韓国 (ソウル市)
- KITZ Corporation (India Liaison Office) / インド (ムンバイ市)
- KITZ Corporation (Dubai Branch) / U.A.E. (ドバイ酋長国)

国内主要グループ会社

- 東洋バルブ株式会社
- 株式会社清水合金製作所
- 株式会社キッツエスシーティー
- 三吉バルブ株式会社
- ワイケイブイ株式会社
- 株式会社キッツエンジニアリングサービス
- 株式会社キッツマイクロフィルター
- 株式会社キッツメタルワークス
- 株式会社ホテル紅や

株式の状況 (2015年3月31日現在)

Stock Information

● 発行可能株式総数 400,000,000 株

● 発行済株式の総数 108,216,989 株

(注) 上記の株式の総数には、当社が2015年3月31日に保有する自己株式
12,179,522 株を含んでおりません。

● 株主数 12,882 名

● 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	8,609	7.96
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	4,671	4.32
日本生命保険相互会社	4,367	4.04
北沢会持株会	3,818	3.53
公益財団法人北澤育英会	3,411	3.15
キッツ取引先持株会	2,956	2.73
住友生命保険相互会社	2,865	2.65
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	2,625	2.43
株式会社みずほ銀行	2,553	2.36
株式会社三井住友銀行	2,553	2.36

(注) 1. 当社は、2015年3月31日現在、自己株式12,179千株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。

2. 上記の持株数には、信託業務に係る株式を次の通り含んでおります。

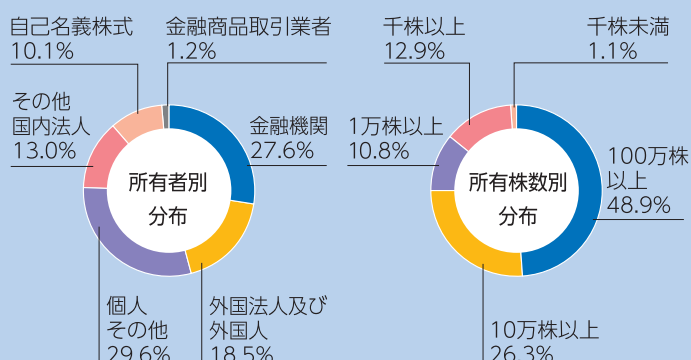
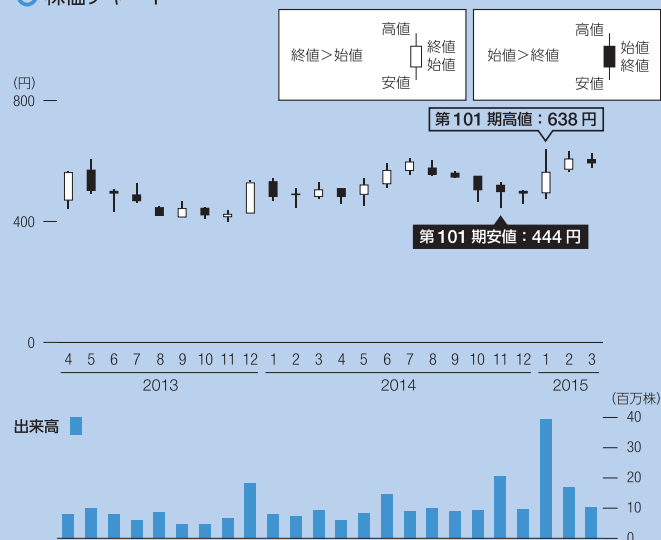
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	8,609 千株
日本マスタートラスト信託銀行(株)	2,625 千株

3. 日本生命保険(相)の持株数には、特別勘定年金口63千株を含んでおります。

4. 住友生命保険(相)の持株数には、特別勘定口31千株及び変額口73千株を含んでおります。

5. 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式12,179,522株を除いて計算しております。

● 株価チャート



期末配当金のお支払について

2015年5月27日開催の当社取締役会におきまして、第101期の期末配当金について、以下の通り決議されております。

期末配当金：1株につき 金7円

(中間配当金として2014年12月に1株につき6円の配当を実施しておりますので、年間の配当金は1株につき13円となります)

効力発生日ならびに支払開始日：2015年6月4日(木)

同封の「第101期期末配当金領収書」により、払渡しの期間(2015年6月4日～7月6日)内に最寄りのゆうちょ銀行または郵便局でお受け取りください。また、銀行等口座振込をご指定の方には、「第101期期末配当金計算書」及び「配当金振込先のご確認について」の記載をご確認いただけますよう、お願い申し上げます。

株主の皆様のご意見が経営に反映されます

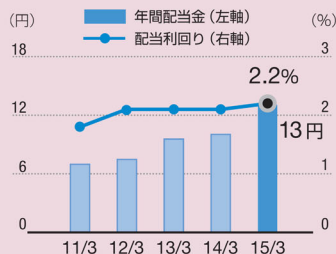
株主総会に提案された議案について、株主の皆様は賛成や反対の意思表示をしていただくことを「議決権の行使」といいます。株主の皆様には100株につき1個の議決権をご所有いただいております。株主様がこの権利を行使することにより、当社の経営に参画していただくこととなります。議決権を行使いただく方法は、以下の通りです。

- ① 株主総会にご出席いただき、提案された議案に対する賛否を表明していただきます。
- ② 株主総会にご出席いただくことができない場合は、「議決権行使書用紙」に、議案に対する賛否を表示し、返送していただきます。

配当方針

キッツは、株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題として位置づけています。配当の継続性、安定性に留意し配当を実施しており、当面の配当性向は連結当期純利益の25%前後を望ましい水準と考えていますが、利益配分の目標として自己株式の取得も含めて、連結当期純利益の3分の1前後を目指してまいります。

この方針に基づき、当期は2014年11月に1,000千株の自己株式を取得いたしました。



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 そのほか必要ある場合は、あらかじめ公告いたします。
公告掲載方法	電子公告 ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載URL(http://www.kitz.co.jp/)
単元株式数	100株

株主優待のご案内

キッツでは今般、株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに、優待制度のより一層の充実を図るため、内容の見直しを行いました。年2回、次の優待を実施しております。

○ 3月末現在で1,000株以上ご所有の株主様 ※6月下旬の発送

- 「株主様ご優待案内」冊子
 - ホテル紅や宿泊割引券、リラクゼーション割引券
 - 高性能浄水器・各種交換カートリッジの割引販売
 - 北澤美術館招待券

● オリジナルクオカード(下線部分を変更)

(保有株数)	(優待内容)
<u>1,000株以上</u>	1,000円券1枚
<u>2,000株以上</u>	2,000円券1枚
<u>3,000株以上</u>	3,000円券1枚

クオカードは、コンビニエンスストア、ガソリンスタンド、ファミリーレストランなど、全国約53,000の加盟店で利用可能な、現在、最も汎用性の高いプリペイドカードです。

○ 9月末現在で1,000株以上ご所有の株主様 ※12月上旬の発送

北澤美術館カレンダー

北澤美術館

キッツは、社会貢献活動の一環として公益財団法人北澤美術館の活動を支援しています。北澤美術館では、19世紀末フランスのアール・ヌーヴォー期の世界第一級のガラス工芸品と現代日本画を中心に優れた作品を常時展示しており、国内外を問わず高い評価をいただいております。



現在、開館30周年記念特別展「ルネ・ラリック」を開催中です(2015年11月29日まで)。本報告書表紙の「常夜灯『エニシダの花と枝』」をはじめ、約150点を展示し、皆様のご来館をお待ちしております。

表紙の解説



ルネ・ラリック 常夜灯《エニシダの花と枝》

1920年 高さ：43.0cm

たわなに咲き乱れるエニシダの枝花文様を透明ガラスの板に陰刻形成した華やかなランプ。飾り棚にヒントを得たティアラ(宝冠)形と呼ばれるラリック独自のデザインは、当初香水瓶のために考案され、照明器具にも応用された。本体に光が灯ると、磨りガラスに仕上げられたエニシダの絵柄が立体的に浮かび上がり優雅な雰囲気を出します。

株主名簿管理人

特別口座の
口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話 0120-232-711(通話料無料)

(ご注意)

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。